## 平成24年度地区衛生組織活動資金募集事業が始まります

# 地域ぐるみの活動に役立てる

地区衛生組織活動資金募集（健康感謝募金）事業は、世界保健デーの四月七日を『健康感謝の日』と定めた昭和三十五年から毎年実施しており、五十三回目を迎えます。

この事業は、健康で暮らせることに感謝し、さらに地域社会の人々の健康増進をはかる地域ぐるみの活動を実施しようと毎年募金活動を実施しています。

集められた募金は、地区衛生組織活動資金募集委員会が定めた要綱や使途遵則により、『公衛協』『環保協』『事務費』に配分され、さまざまな公衆衛生活動に役立てられます。

『公衛協』に配分された募金は、「地域一斉清掃」や「不法投棄パトロール」、地域のお祭り時にごみ箱やのぼりを設置する「ごみの分別指導」、地域や社会の環境について学ぶ「水辺教室」や「脱温暖化学習会」、生活習慣病予防や健康づくりを推進するための「料理教室」や「ウォーキング大会」などに係る経費に充てられます。具体的には、ごみ袋や掃除道具の購入、公衛協活動をPRするユニフォームやイベントへの参加を呼びかけるチラシの作成などです。

なお、公衛協によって使途は異なりますので、詳しくは各公衛協事務局へお問い合わせください。

『環保協』に配分された募金は、公衆衛生推進手帖や全県共通事業（重点メニュー）の「一万人のエコチェック事業」と「一万人の食チェック事業」におけるチェックカードとマニュアル、「公衛協発ウォーキング事業」におけるナップサックやベスト、「広島発・瀬戸内海美化大作戦」におけるアドプト看板やのぼりなどの作成に活用しています。

『事務費』に配分された募金は、本募金事業をPRするポスターやチラシ、募金袋などの作成に活用しています。

このように、皆様から集めた募金は公衛協の活動資金となり、さまざまな公衆衛生活動に役立てられています。

主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

（地域活動支援センター）

平成二十四年度健康感謝の日をPRするポスター

## トピックス：広島発・瀬戸内海美化大作戦

# 次世代にすばらしい環境を
# 11市町公衛協で65事業

道路脇の法面を複数の団体と清掃した（呉市安浦地区）

公衛協は、これまで「アドプトNETひろしま」や生活排水対策、不法投棄撲滅運動など、地域の美化活動を積極的に行い、環境保全に尽力してきた。これらの環境づくり活動を統合し、平成23年度から重点メニュー「広島発・瀬戸内海美化大作戦」として取り組んでいる。

この事業は、「瀬戸内海」をキーワードに「地域清掃・美化」「水質改善・保全」「里地・里山」の3つのテーマで、身近な環境を保全し次世代へすばらしい環境を残すことを目的としている。

展開された事業をみると、アドプト活動や花いっぱい運動、水に関する学習会、不法投棄撲滅運動など、11市町公衛協で65事業が実施された。環保協からは、アドプトサインやのぼり、瀬戸内海学習テキスト、油吸着材などのグッズを提供した。

事業報告の中から、今後の発展につながる事例をいくつか紹介する。

**●事業を複合的に実施**

「庄原市西城地区」では、瀬戸内海学習テキストを水辺教室で活用した。開催場所の環境学習に加えて、流域や海との関わりについても学んだ。

「福山市神辺学区」では、ウォーキング事業の中で池の環境学習を実施。油吸着材を参加者に配布し、台所から出る汚れについて考え、汚染防止を呼び掛けた。

**●他団体と共同実施**

「呉市安浦地区」では、大河ドラマ「清盛」のロケ地に選定されたことがきっかけとなり、複数の団体と清掃美化活動を展開。今後も継続して取り組んでいく。

**●市町ぐるみで実施**

「世羅町」では、河川上流部に住む者のマナーを参加者と考え行動することをねらいに、町ぐるみで「不法投棄戦国時代」（パトロールや回収作戦）を実施。多くの町民が参加した。

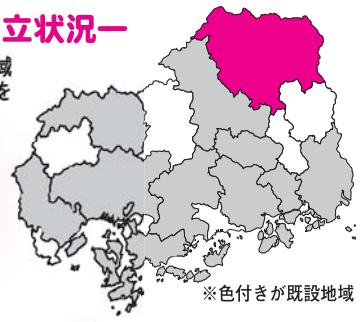
今回紹介した事例のほかにもたくさんの取り組みがあり、平成24年度は事例を共有できる場を整備していく。さまざまな事例を住みよい環境づくりに活用してほしい。

（地域活動支援センター）

## 一広島県内のTEAM設立状況一

脱温暖化センターひろしまでは、地域コミュニティを母体とする地域協議会を「TEAM」と呼んでいます。

Tiiki（地域）
Eco（エコ）
Action（アクション）
Meeting（ミーティング）


※色付きが既設地域

# 庄原に「しのうエコ推進会」が誕生

## 県内のTEAM数は26に

三月十五日に庄原市敷信（しのう）自治振興センターで行われた設立総会で「しのうエコ推進会」が誕生した。これで県内のTEAM数は二十六となった。

同会は、庄原市敷信自治振興区の環境安全部を母体として設置され、同振興区の総務部や庄原市環境政策課、その他会の目的に賛同する個人などが会員となったもの。

設立総会では、庄原市公衆衛生推進協議会の宮本英輝会長が祝辞を述べ、庄原市で初となる地域協議会の活動に対する期待を語った。議事として、会則や役員構成、次年度の活動計画などが審議されたほか、温暖化の学習会も行った。学習会では、脱温暖化センター職員がスライドを使って温暖化のメカニズム、広島での暮らしや農作物への影響、センターが展開する〝脱温暖化のまちづくり〟の推進体制などを解説した。また、お隣の三次市から「布野の食と脱温暖化を考える会」の会長ほか三人が駆けつけ、取り組み事例を紹介した。同会は、地元小学校と連携し、食育や里山遊びを通じた脱温暖化活動のほか、廃油を使ったロウソクや石鹸づくりなどを進めている。

しのうエコ推進会の母体である自治振興区環境安全部は、クリーンキャンペーンや花いっぱい運動、学校と連携した食育活動、里山の自然を生かした「森のようちえん」など、すでに多様な活動を展開している。平成二十四年度は、これらの活動に〝脱温暖化〟の視点を加味して、会員を増やしながら庄原における脱温暖化のリーダー的存在となること期待したい。

脱温暖化センターひろしまは、今後も全県的な脱温暖化のまちづくりを目指し、未設置市町を中心にTEAM設立に向けた人材発掘を行うほか、既存TEAMの個別支援やTEAM間での連携・協働などにも力を入れていく。

（脱温暖化センターひろしま）

近隣のTEAMがエールをおくる

設立総会には約30人が集まり、活発な議論が交わされた

## 地区衛生組織活動資金募集（健康感謝募金）にご理解・ご協力をお願いします！

### ～4月7日は“健康感謝の日”～

昭和35年2月、広島市で開催された広島県公衆衛生大会「健やかな暮らしをつくる人々の集い」において、世界保健デーの4月7日を『健康感謝の日』と定めました。それ以来、4月7日を中心に、健康で暮らせることに感謝し、地域社会の人々の健康増進をはかる地域ぐるみの活動を実施しようと毎年募金活動を実施しております。

集められた募金は、募金委員会が定めた要綱・使途遵則により、各市町の公衛協や環保協に配分され、地域の公衆衛生活動のために使われます。

町内会や自治会などから募金袋が回りますので、ご協力をお願いします。

今年度 第53回目

集められた募金の使途

- ごみの減量化と分別の徹底・リサイクル活動の推進
- 道路、河川など生活空間の美化活動
- 脱温暖化に向けたライフスタイルの推進
- 次世代を担う子どもたちのための環境学習
- 健康づくりのための教室や大会の実施など・・・